



Cloud Disk (Windows 版)

ユーザガイド

Last update 2013.4.16

Ver.2.1.1

■ Cloud Disk とは

インターネット上(クラウド)に大切なデータを保存することが出来る便利なアプリケーション(オンラインストレージ)です。

■ 本資料について

Cloud Disk サービスは、マイナーバージョンアップ等もあるため、実際のクライアントと本資料に差分が発生する場合があります。

■ 更新履歴

| 日付 | Version | 更新内容 | 備考 |
|-----------|---------|---|--------------|
| | 1.0.0 | 初版作成 | |
| 2013.4.11 | 2.0.0 | 全体修正 | |
| 2013.4.16 | 2.1.0 | 31 ページ「※ご注意 2:バックアップ対象にできないフォルダ」に「5.ネットワークドライブのファイルやフォルダ」を追加。 「21 パスワードの変更」を追加。 「22 仕様に関してのご注意事項」の「バックアップ機能について」へ「(4)ショートカットファイルをバックアップ対象に含めた場合」の注意を追加。 「24.1Web ページリンク先 URL の表示について」で使用していた画像を修正。 | ※Disk v2.3.0 |
| | 2.1.1 | 「12 アクセスチケットの生成(フォルダ/ファイルの公開)」で使用できる文字種に「a」を追加 | |

目次

| | | |
|------|-----------------------------------|----|
| 1 | 動作環境 | 5 |
| 2 | アプリケーションのインストール方法 | 5 |
| 3 | アカウント設定 | 9 |
| 4 | Windows 版クライアントの機能 | 11 |
| 5 | Windows クライアントから利用できる機能 | 11 |
| 6 | ファイルのアップロード | 13 |
| 7 | ファイルのダウンロード | 14 |
| 8 | ファイル・フォルダの移動とコピー | 14 |
| 9 | ファイル更新履歴の利用方法 | 15 |
| 10 | ファイル更新履歴の上限数変更 | 16 |
| 11 | 操作履歴の確認 | 18 |
| 12 | アクセスチケットの生成(フォルダ/ファイルの公開) | 19 |
| 12.1 | フォルダの公開 | 19 |
| 12.2 | ファイルの公開 | 20 |
| 12.3 | アクセスチケットを用いて Cloud Disk にアクセスする方法 | 21 |
| 13 | アクセスチケットの管理 (フォルダ/ファイル公開の管理) | 22 |
| 13.1 | フォルダやファイル単位のアクセスチケット管理 | 22 |
| 13.2 | フォルダやファイルに設定済アクセスチケットの一元管理 | 23 |
| 14 | ごみ箱の利用 | 24 |
| 15 | ローカルデータのバックアップ | 27 |
| 15.1 | バックアップツール | 27 |
| 15.2 | 手動バックアップ | 29 |
| 15.3 | 自動バックアップ | 30 |

| | | |
|------|------------------------|----|
| 15.4 | バックアップデータの復元 | 32 |
| 15.5 | バックアップデータの削除 | 34 |
| 16 | Sync(同期)機能 | 35 |
| 16.1 | 同期設定の確認 | 35 |
| 16.2 | 同期データをパソコンで参照する | 36 |
| 17 | ショートカット機能 | 37 |
| 18 | プッシュ通知機能 | 38 |
| 19 | 利用容量の確認 | 39 |
| 20 | 新規ファイルの作成と編集(テキストファイル) | 39 |
| 21 | パスワードの変更 | 40 |
| 22 | 仕様に関してのご注意事項 | 41 |
| | ●拡張子がないファイルについて | 41 |
| | ●バックアップ機能について | 41 |
| | ●プロキシ サーバーが設定されている場合 | 41 |
| 23 | 既知の問題 | 42 |
| 24 | OEM 提供機能 | 44 |
| 24.1 | Web ページリンク先 URL の表示 | 44 |
| 24.2 | アカウント変更 | 44 |
| 24.3 | バックアップツール | 45 |

1 動作環境

■ パソコン (OS、CPU 等)

HDD: 10MB 以上の空き容量

OS:

Windows XP SP3 以降、Internet Explorer 8 以上

または、

Windows Vista 32bit・64bit、Windows 7 32bit・64bit、Windows 8 32bit・64bit、Internet Explorer 9 以上

いずれの場合も NET Framework バージョン 2.0 以上が必要です。

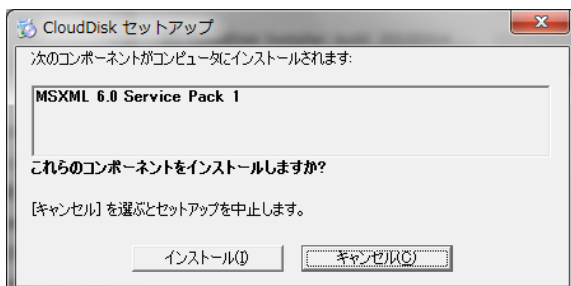
※Windows は Windows Update でシステムを最新の状態にした上でご利用ください。

2 アプリケーションのインストール方法

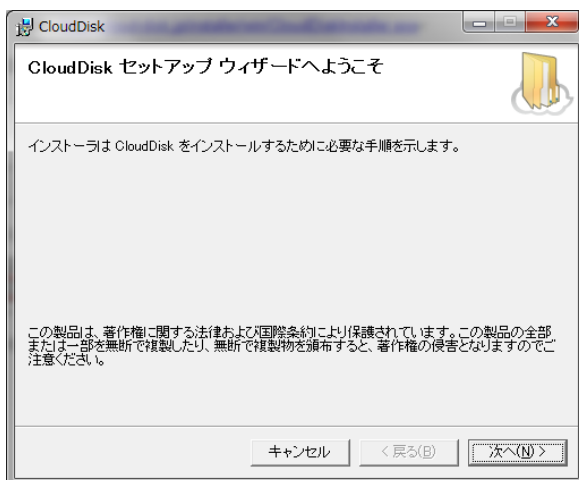
- ① 下記の URL にアクセスして、インストーラをダウンロードします。

URL <http://cloud-disk.jp/installer/win/CloudDiskInstaller.exe>

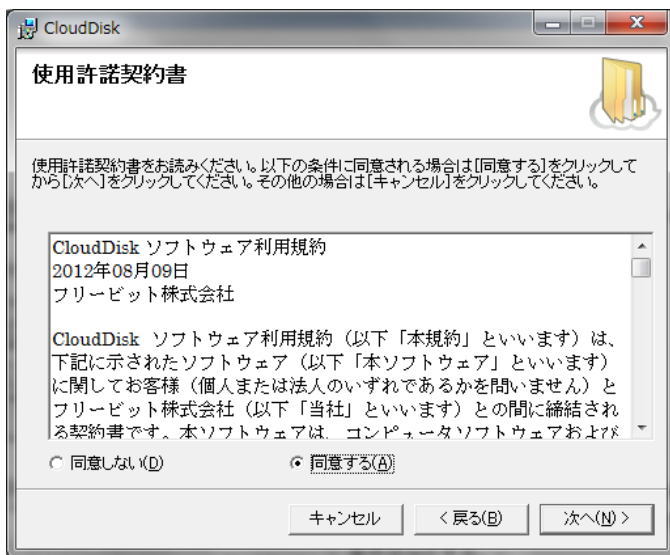
- ② ダウンロードしたインストーラをダブルクリックし、セットアップウィザードを起動します。



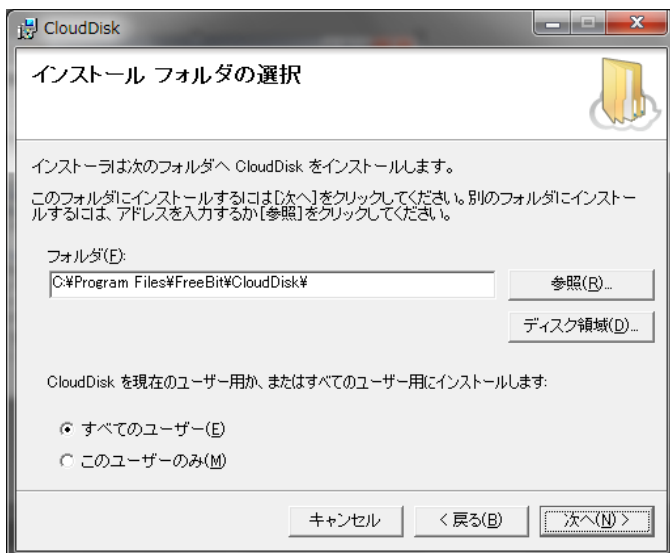
- ③ 「Cloud Disk セットアップ」画面が表示されたら、「インストール」をクリックします。



- ④ セットアップウィザード画面が表示されるので「次へ」をクリックします。

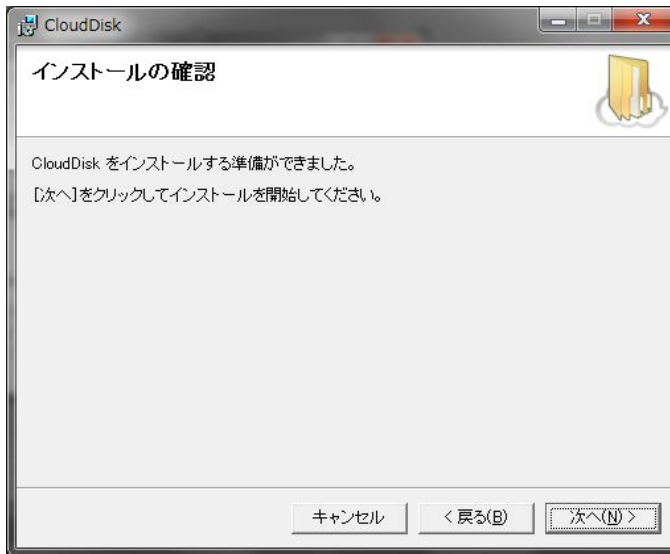


⑤ 「使用許諾契約書」の「同意する」にチェックを入れ「次へ」をクリックします。

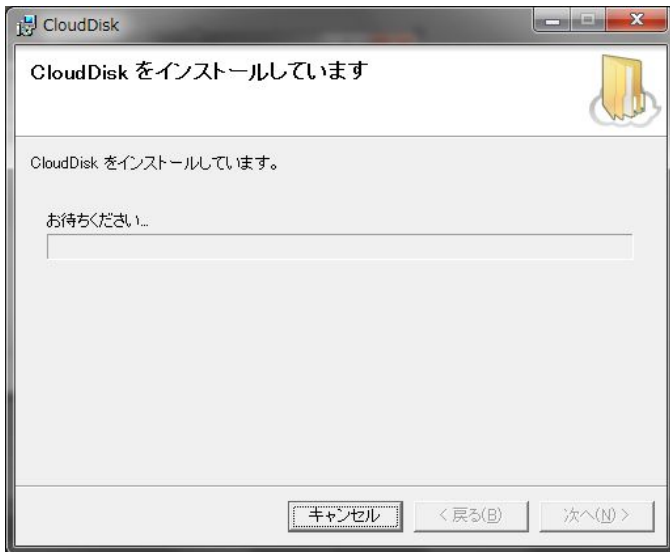


⑥ 「インストールフォルダの選択」画面が表示されるので任意のフォルダを選び「次へ」をクリックします。

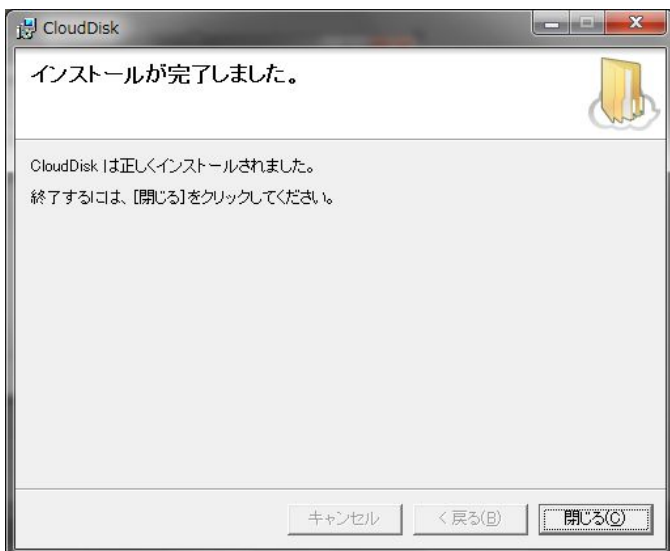
※ご注意：インストール先として、「C ドライブ」以外を設定することはできません。



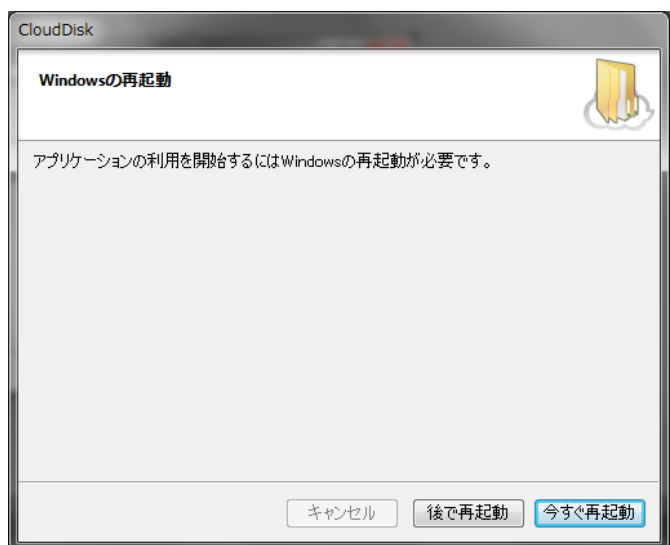
⑦ 「インストールの確認」画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。



⑧インストールが開始されます。



⑨インストールが完了します。
「閉じる」をクリックしインストール作業を終了します。





⑩インストールが完了すると、再起動を要求されるので問題なければ、「今すぐ再起動」をクリックします。

※ご注意：インストール後に再起動を行わないと、アプリケーションは正しく動作しませんので、必ず、再起動してください。

⑪インストールが完了します。初期値の通りにインストールした場合の設定は以下の通りです。

Windows Vista/7/8 の場合

| 項目 | 内容 |
|--------------------|--|
| インストール先 フォルダ初期値 | C:\Program Files\FreeBit (開発会社名)\Cloud Disk (Disk サービスブランド) |
| 同期データ 保存先 | C:\Users\<Windows ユーザ名>\CloudDisk (Disk サービスブランド) \<Disk サービスアカウント名>\Sync |
| スタート メニュー | ①「Cloud Disk」のショートカットアイコン  ②「すべてのプログラム」→「Cloud Disk」→プログラムへのショートカットアイコン、 及び アンインストールアイコン |
| デスクトップ | プログラムへのショートカットアイコン  |
| 通知領域 (タスクトレイ) | 通知アイコン  |

Windows XP の場合

| 項目 | 内容 |
|--------------------|--|
| インストール先 フォルダ初期値 | C:\Documents and Settings\<Windows ユーザ名>\My Documents\CloudDisk (Disk サービスブランド名)\<Disk サービスアカウント名>\Sync |
| 同期データ 保存先 | C:\Users\<Windows ユーザ名>\CloudDisk (Disk サービスブランド) \<Disk サービスアカウント名>\Sync |
| スタート メニュー | ①「Cloud Disk」のショートカットアイコン  ②「プログラム」→「Cloud Disk」へのショートカットアイコン、及び アンインストール アイコン |
| デスクトップ | プログラムへのショートカットアイコン  |
| 通知領域 (タスクトレイ) | 通知アイコン  |

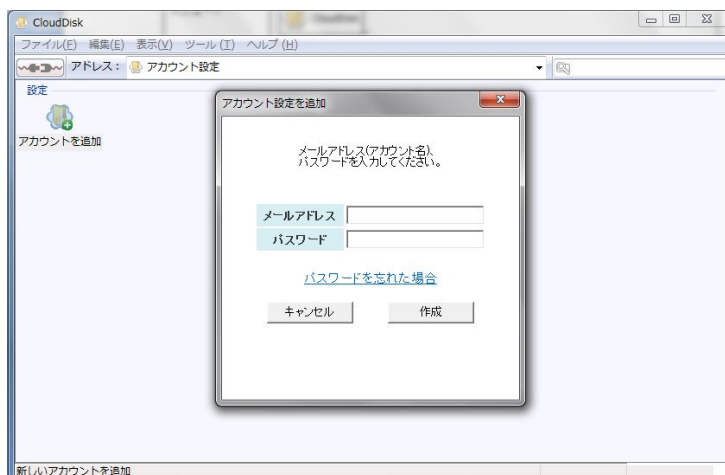
3 アカウント設定

Cloud Disk のログイン情報をアプリケーションに設定します。

《アプリケーションを起動》

①通知領域のアイコンのダブルクリック、デスクトップのショートカットのダブルクリック、スタートメニューからの選択いずれかの方法で Cloud Disk を起動します。

《アカウント設定を追加》



②起動すると、「アカウント設定を追加」ウィンドウが表示されます。以下の情報を入力し、「作成」ボタンを押します。

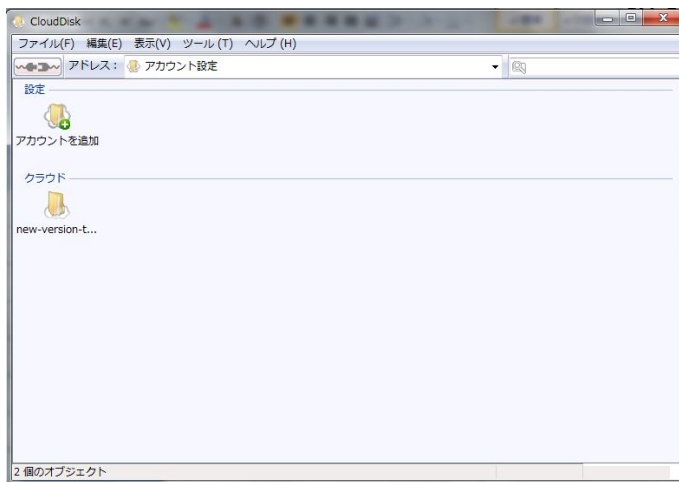
「アカウント設定を追加」ウィンドウは、「アカウントを設定」アイコンをダブルクリックすると表示されます。

《登録情報》

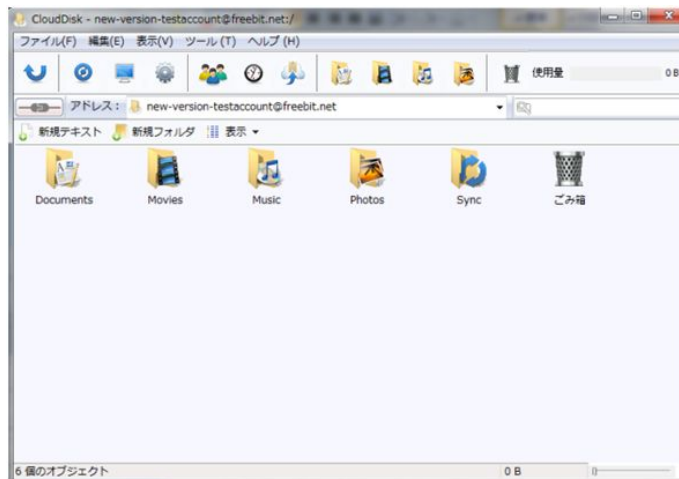
| | |
|---------|------------------|
| メールアドレス | Cloud Disk アカウント |
| パスワード | Cloud Disk パスワード |



②設定が完了した場合、左のような画面になります。「閉じる」をクリックします。



③「アカウント設定」画面に戻ります。「クラウド」欄に、ご契約者様のメールアドレスと同じ名前のアイコンが追加されます。クラウド上のファイルを参照する際には、このアイコンをダブルクリックします。



④ご契約者様のディスクのトップ画面に移ります。

4 WINDOWS 版クライアントの機能

《ファイル一覧画面のアイコン各機能》



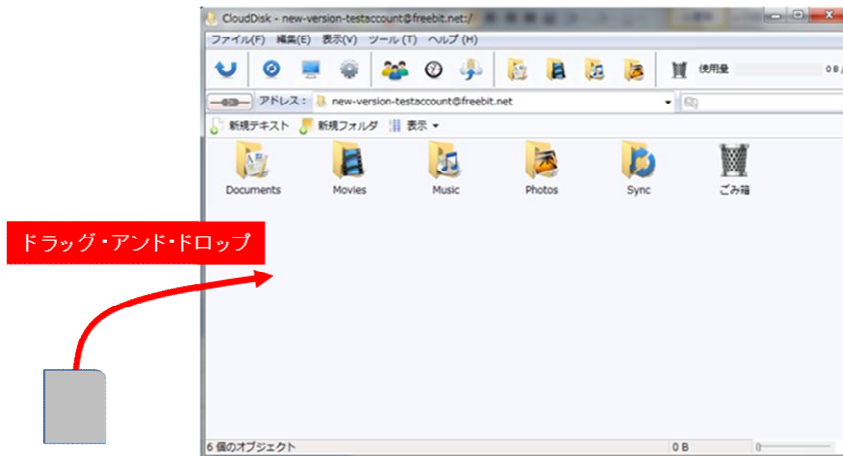
5 WINDOWS クライアントから利用できる機能

| | | |
|---|-----------------------------|---|
| ① | ファイルのアップロードとダウンロード | Cloud Disk に ファイルをアップロード/ダウンロードします。 |
| ② | 転送確認(ファイルのアップロード状況) | Cloud Disk にファイルをアップロードする際 進捗状況が確認できます。 |
| ③ | ファイル・フォルダの移動とコピー | Cloud Disk上で任意のファイル/フォルダを移動/コピー出来ます。 |
| ④ | ファイルの更新履歴の管理 | 内容を変更したファイルを上書きアップロードした際 旧ファイルの情報を保持し、復元できます。 |
| ⑤ | 操作履歴の確認 | どのような操作をしたか、履歴を確認できます。 |
| ⑥ | アクセスチケットの生成(フォルダ/ファイルの公開) | フォルダやファイルを公開します。 パスワード、ダウンロード上限、公開期限といったアクセス制限を設定できます。 |
| ⑦ | アクセスチケットの管理(フォルダ/ファイル公開の管理) | 公開したフォルダやファイルを一覧表示します。 不要になったアクセスチケットの削除や、パスワード、ダウンロード上限、公開期限といったアクセス制限を再設定できます。 |
| ⑧ | ごみ箱の利用 | 不要なファイルやフォルダをごみ箱に入れることができます。 削除操作したファイルを元の場所に戻すこともできます。 |
| ⑨ | ローカルデータバックアップ | パソコンにあるファイルやフォルダを、日時や場所を記憶してバックアップ・復元できます。 |
| ⑩ | Sync機能 | Syncフォルダをパソコンにも作成し、内容を同期します。Disk全体の同期に設定を変更することもできます。 |
| ⑪ | ショートカット機能 | パソコン側にDiskや任意のフォルダへのショートカットを作成すること |

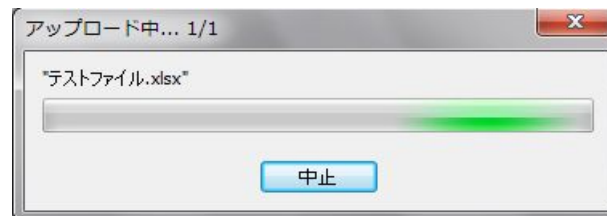
| | | |
|---|---------------------------|--|
| | | ができます。 |
| ⑫ | コンテキストメニューからのCloud Disk利用 | コンテキストメニュー(右ボタンメニュー)を使って、パソコンのフォルダやファイルをアップロードしたり、バックアップしたりできます。 |
| ⑬ | プッシュ通知機能 | Diskの内容が変更された場合、その旨を通知します。 |
| ⑭ | 利用容量の確認 | 総量に対するファイルやフォルダの使用領域、履歴データ、ごみ箱データが占める割合を確認できます。 |
| ⑮ | 新規テキストファイルの作成 | アプリケーション内で新規テキストファイルを作成できます。 |
| ⑯ | パスワード変更 | Cloud Diskにログインするパスワードを変更できます。 |

6 ファイルのアップロード

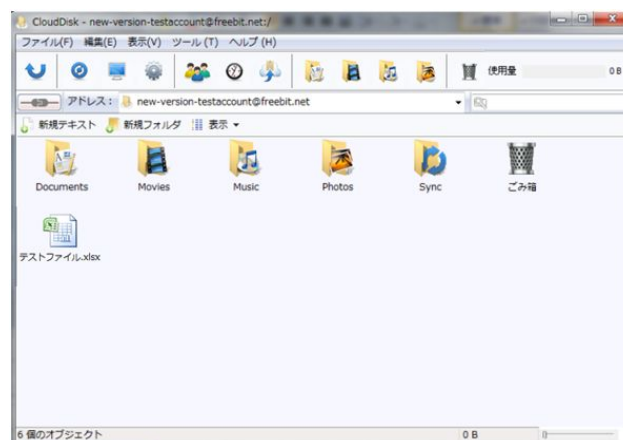
①アップロード先のフォルダを開き、パソコン上のファイルやフォルダをドラッグ・アンド・ドロップします。



②アップロード中には転送状態を確認できるウィンドウが表示されます。



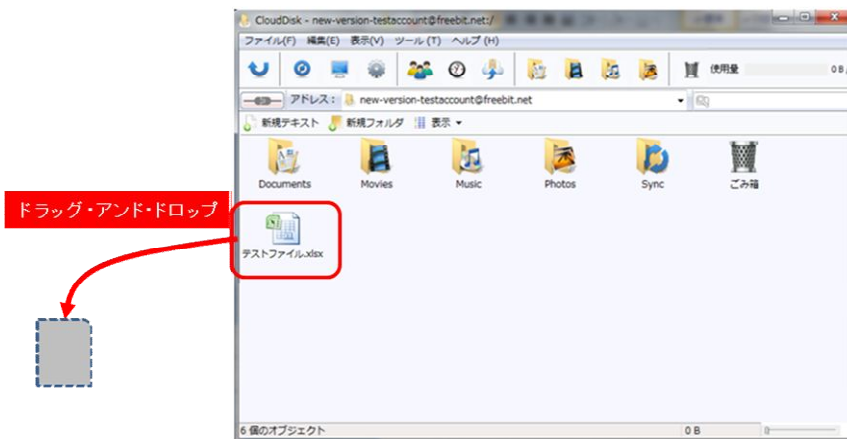
③アップロードが完了しました。



※ご注意: アップロードできるファイルサイズの上限は 2GB です。

7 ファイルのダウンロード

①ダウンロードしたいパソコン上のフォルダを開き、Cloud Disk 上のファイルやフォルダをドラッグ・アンド・ドロップします。

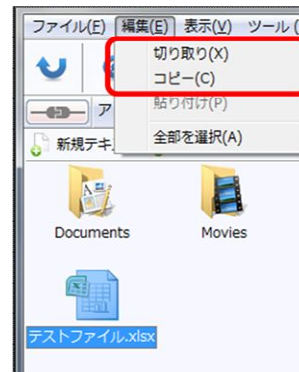
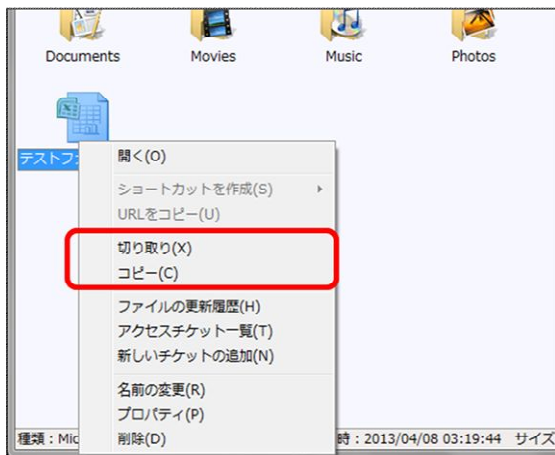


8 ファイル・フォルダの移動とコピー

① 移動またはコピーさせたいファイルやフォルダを選び、以下のいずれかの操作をします。

・コンテキストメニュー(右ボタンメニュー)から、移動の場合には「切り取り」、コピーの場合は「コピー」を選びます。(下図左)

・「編集」メニューから、移動の場合には「切り取り」、コピーの場合は「コピー」を選びます。(下図右)



②移動またはコピー先のフォルダを表示し、以下のいずれかの操作をします。

- ・コンテキストメニュー(右ボタンメニュー)から、「貼り付け」を選びます。
- ・「編集」メニューから、「貼り付け」を選びます。

※「移動」の場合は元の場所からファイルは無くなり、移動先に保存されます。「コピー」の場合は元の場所にもファイルは残ります。

9 ファイル更新履歴の利用方法

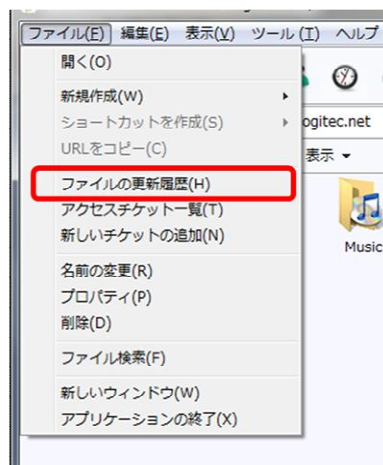
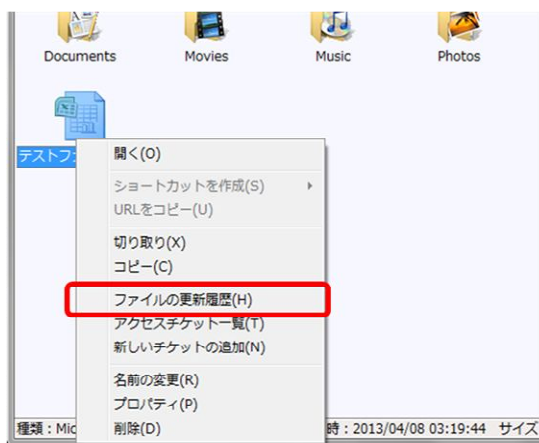
Cloud Disk では上書きによるファイルの更新が、いつ、どこから行われたかを記録しているため、ユーザはファイル更新の履歴を確認し、上書きされる前のファイルに復元することができます。

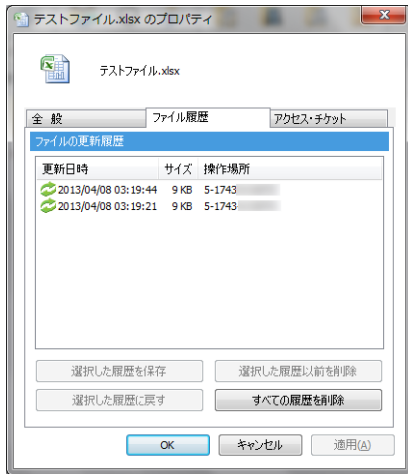
記録の有無 および 記録する履歴数の変更は、⑩ファイル更新履歴の上限数変更 で変更できます。

① 更新履歴はファイルの「プロパティ」に保存されています。

以下のいずれかの方法で確認できます。

- ・対象とするファイルのコンテキストメニュー(右ボタンメニュー)から「ファイルの更新履歴」を選ぶ。(下図左)
- ・対象とするファイルを選択した状態で、「ファイル」メニュー→「ファイルの更新履歴」を選ぶ。(同右)





②プロパティの「ファイル履歴」のタブが開き、ファイルの更新履歴が確認できます。

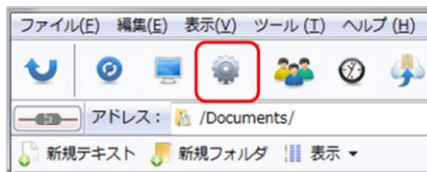
《ファイル履歴機能一覧》

| | |
|-------------|---|
| 選択した履歴を保存 | 選択した履歴のバージョンでファイルをパソコンに保存します。 |
| 選択した履歴に戻す | 現行のファイルを選択した履歴で上書きします。戻したバージョンより新しい履歴は自動的に削除されます。 |
| 選択した履歴以前を削除 | 選択した履歴より過去の履歴を削除します。 |
| すべての履歴を削除 | 保存されている全ての履歴を削除します。 |

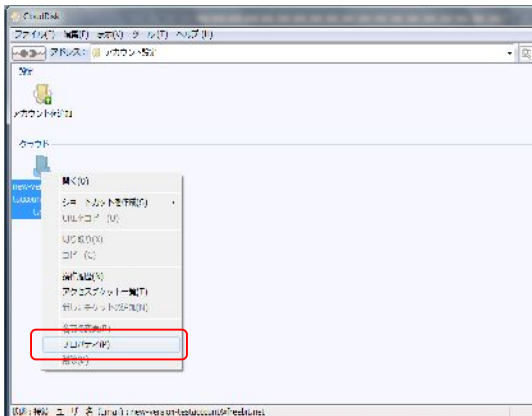
10 ファイル更新履歴の上限数変更

保存するファイルの更新履歴上限数を変更することができます。

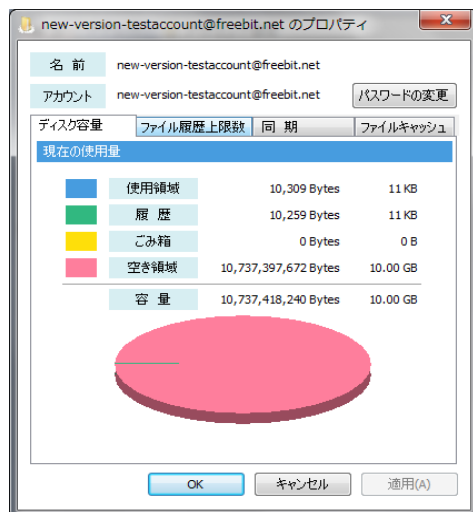
①ファイルのプロパティを参照します。以下のいずれかの方法で確認できます。



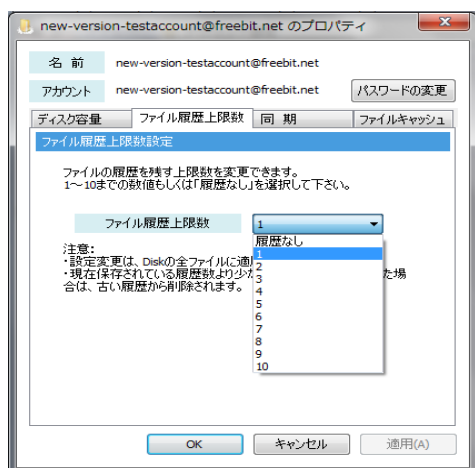
・「ノードのプロパティ」アイコンをクリックします。



・ファイルの上でコンテキストメニュー（右ボタンメニュー）を表示し、「プロパティ」を選びます。



②「プロパティ」で「ファイル履歴上限数」タブを選びます。



③プルダウンメニューからファイルの上限数を選びます。

※ご注意 1

設定した更新履歴の上限数はそのアカウントに含まれるすべてのファイルに適用されます。

※ご注意 2

更新履歴の上限数を現在の設定より減らした場合、設定した上限数を超えるファイル更新履歴を持っていると、古いデータから順に削除され、設定した上限数の履歴数となります。

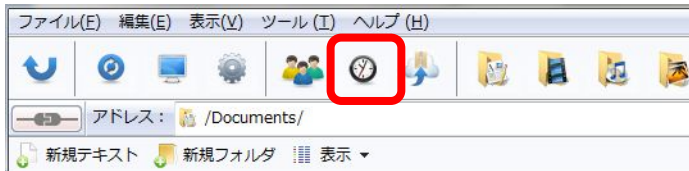
※ご注意 3

履歴データはアカウントが契約している Disk 使用領域に保存されます。

11 操作履歴の確認

いつ、どのように操作されたかを確認することができます。

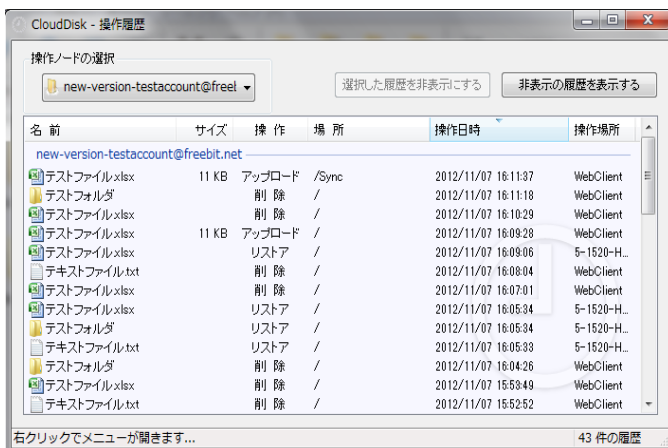
①以下のいずれかの方法で操作履歴ウィンドウを表示します。



・操作履歴アイコンをクリックします。



・通知領域にある Cloud Disk アイコンを右クリックし、表示されるメニューから「操作履歴」を選択します。



③選択中のアカウントの操作履歴が表示されます。

※ご注意:複数の Cloud Disk アカウントを登録している場合、ファイル表示中のアカウントの情報のみ表示されます。

《操作履歴で確認できる操作》

アップロード、フォルダ作成、ファイル/フォルダコピー、ファイル/フォルダ移動、削除、チケット発行、チケット削除、履歴上限数変更、ファイル更新履歴削除、ファイル更新履歴を戻す、ファイルの完全削除、ファイルのリストア、パスワード変更

12 アクセスチケットの生成(フォルダ/ファイルの公開)

Cloud Disk 上にあるフォルダ/ファイルを公開する Web ページを生成します。Web ページには、以下の制限を加えることができます。

《アクセスチケットの制限事項》

| 種別 | 概要 | 詳細 |
|------|-----------|---|
| フォルダ | アクセス制限 | アップロードのみ許可、ダウンロードのみ許可、両方を許可 |
| | 期限 | カレンダーで公開を終了する日付を設定 |
| | パスワード | Web ページにパスワードを設定 文字制限 1 文字以上 32 文字以下 以下の文字種が利用可能です。 abcdefghijklmnopqrstuvwxyzABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ1234567890 |
| ファイル | ダウンロード上限数 | 制限なし、1～ 10 回、20 回、30 回、40 回、50 回 |
| | 期限 | カレンダーで公開を終了する日付を指定 |
| | パスワード | Web ページにパスワードを設定 文字制限 1 文字以上 32 文字以下 以下の文字種が利用可能です。 abcdefghijklmnopqrstuvwxyzABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ1234567890 |

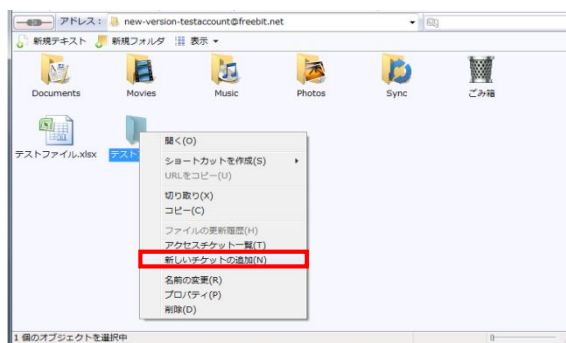
※公開されたフォルダやファイルには、



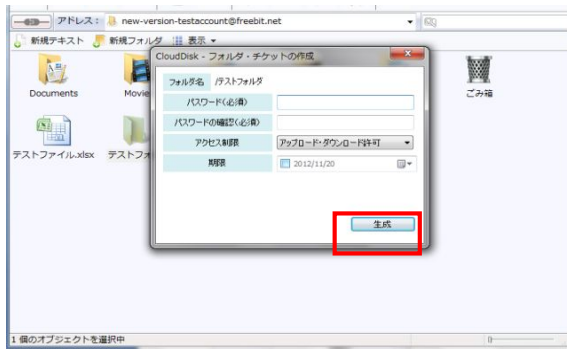
このようなアイコンが付与されま

す。

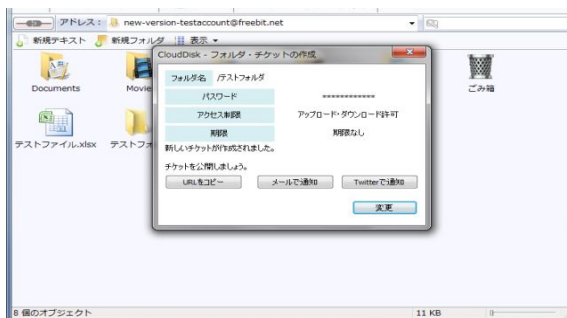
12.1 フォルダの公開



①公開したいフォルダを右クリックします。コンテキストメニューから「新しいチケットの追加」をクリックします。



②制限を加える画面が表示されます。設定後、「生成」をクリックします。

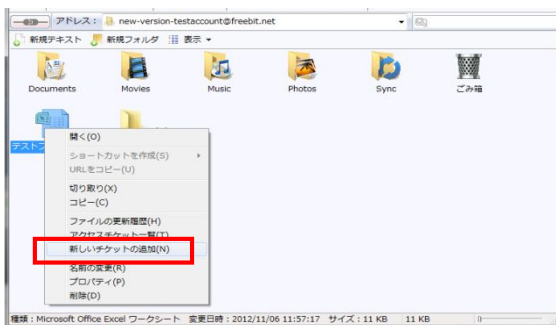


③フォルダが公開されました。

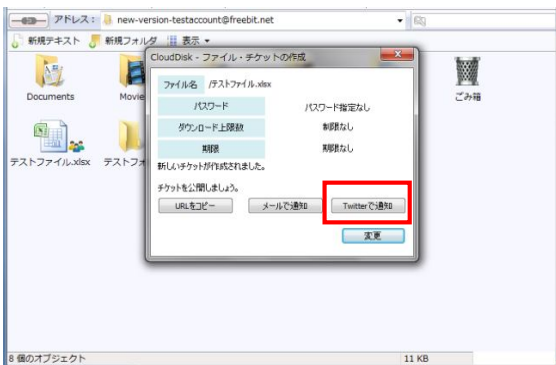
- ・ URL をコピー
- ・ URL をメールで通知
- ・ URL を Twitter で通知

いずれかの対応を選択できます。

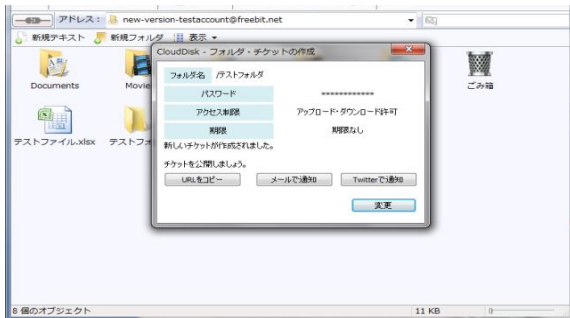
12.2 ファイルの公開



①公開したいファイルを右クリックします。コンテキストメニューから「新しいチケットの追加」をクリックします。



②制限を加える画面が表示されます。設定後、「生成」をクリックします。



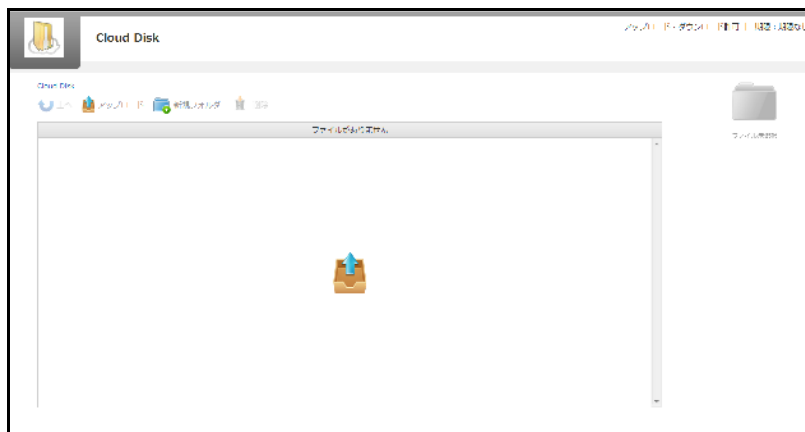
③ファイルが公開されました。

- ・ URL のコピー
- ・ メールで通知
- ・ Twitter で通知

いずれかの対応を選択できます。

12.3 アクセスチケットを用いて CLOUD DISK にアクセスする方法

- ① 公開されたフォルダの URL にアクセスすると、下記の画面が表示されます。パスワードを入力すると、公開されたフォルダにアクセスできます。アップロードを許可している場合は、「アップロード」「新規フォルダ」「新規テキスト」アイコンが表示されています。

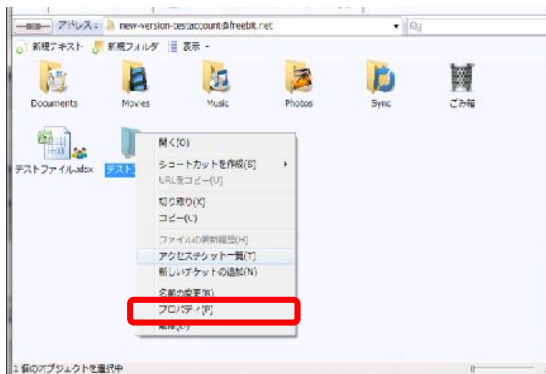


13 アクセスチケットの管理（フォルダ/ファイル公開の管理）

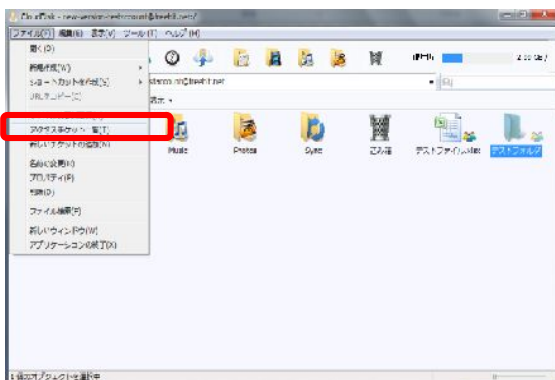
一度生成したアクセスチケット（フォルダやファイルの公開）は、公開を停止したり、制限を変更したりすることができます。

13.1 フォルダやファイル単位のアクセスチケット管理

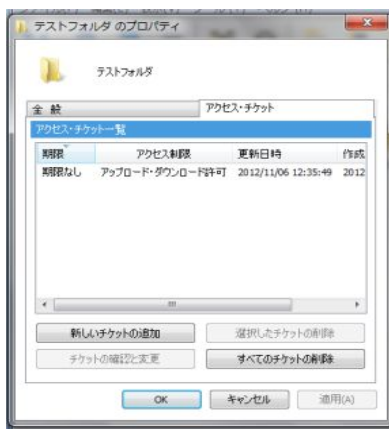
特定のフォルダやファイルに設定したアクセスチケットを表示する場合には、以下のいずれかの方法で「プロパティ」の「アクセス・チケット」タブを表示します。



・管理したいフォルダ（またはファイル）を右クリックし、コンテキストメニューを表示します。「アクセスチケット一覧」をクリックします。



・管理したいフォルダ（またはファイル）をクリックし「ファイル」メニュー→「アクセスチケット一覧」をクリックします。



プロパティの「アクセス・チケット」タブが表示されます。アクセスチケットを選択して、公開設定内容を変更することが可能です。

《設定項目》

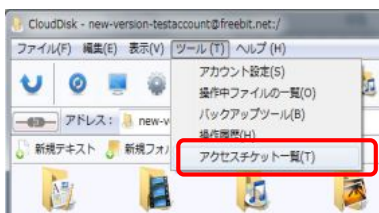
| | |
|-------------|-------------------------|
| 新しいチケットの追加 | 異なる制限を設けた、新しいURLで公開します。 |
| チケットの確認と変更 | 既存の公開制限の設定を変更します。 |
| 選択したチケットの削除 | 公開設定を削除します。 |
| 全てのチケットの削除 | 全ての公開設定を削除します。 |

13.2 フォルダやファイルに設定済アクセスチケットの一元管理

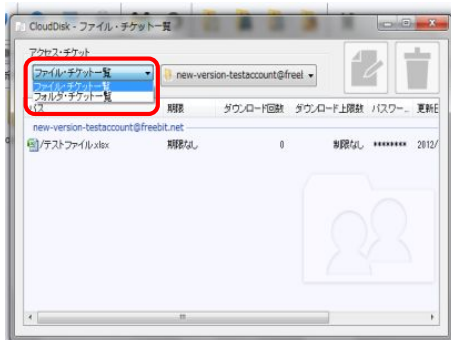
フォルダやファイルに設定したアクセスチケットの一覧表示する場合には、以下のいずれかの操作をします。



・「アクセスチケット一覧」アイコンをクリックします。



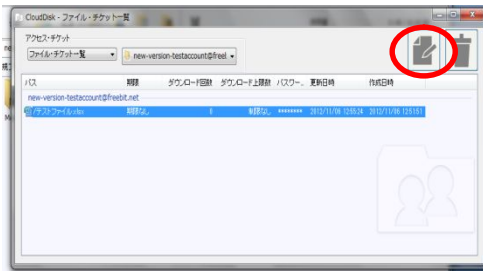
・もしくは、「ツール」から「アクセスチケット一覧」をクリックします。



公開中のファイルとフォルダが一覧で表示されます。ファイル/フォルダの切り替えは画面左上のプルダウンメニューで行います。

変更を行う場合には、以下のいずれかの方法で、設定の修正を行います。

- ・対象をダブルクリックします。
- ・対象をクリックし、画面右上の「チケットの確認と変更」をクリックします。
- ・対象を右クリックし、コンテキストメニューの「チケットの確認と更新」をクリックします。



チケットの確認と変更
アイコン

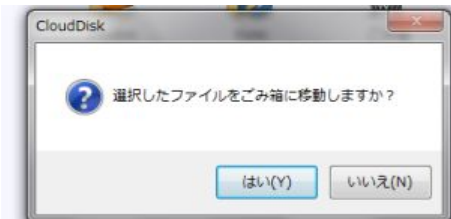
14 ごみ箱の利用

Cloud Disk でも、WindowsOS と同様にごみ箱があります。フォルダやファイルを削除すると、一旦ごみ箱に移動され、ごみ箱を空にすることでファイルを完全消去します。

《ゴミ箱を利用したファイル削除》

①削除したいフォルダやファイルをいずれかの方法で削除します。

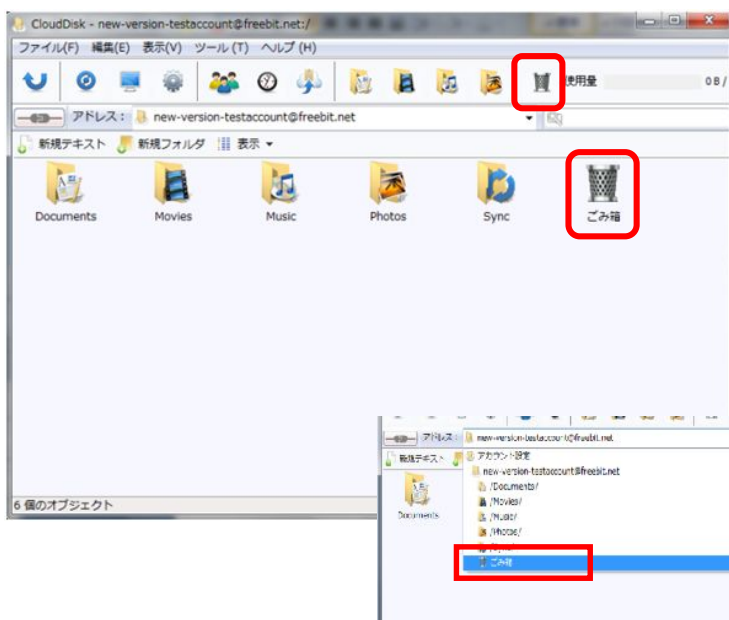
- ・ごみ箱アイコンへドラッグ・アンド・ドロップ
- ・ファイルやフォルダを選択して Delete キーを押す
- ・右クリックしてコンテキストメニューから「削除」を選択



②確認ダイアログボックスが表示されるので、削除してよいときには「はい」を選びます。

《ごみ箱機能の利用方法》

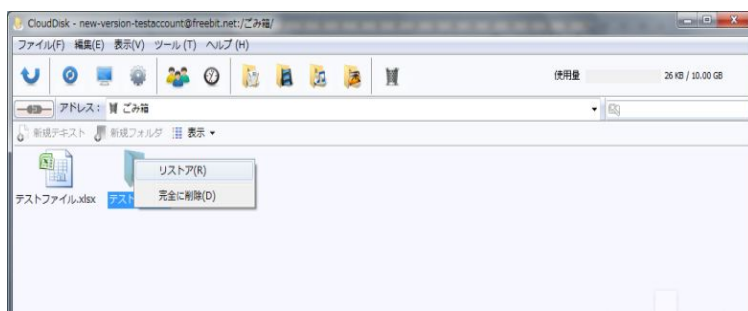
①ごみ箱の中身を見る際には、以下のいずれかの方法を取ります。



・ファイル表示来のごみ箱アイコンをダブルクリックする(左図上)

・メニューバーにあるごみ箱アイコンをクリックする(左図下)

・アドレス欄のプルダウンメニューからごみ箱を選択する(下図)



②ごみ箱内のフォルダやファイルを選択、右ボタンクリックをして、コンテキストメニューを表示させます。

《ごみ箱の機能》

| ファイル/フォルダのコンテキストメニュー（右ボタンメニュー） | |
|--------------------------------|---|
| リストア | <p>ごみ箱にあるファイル/フォルダを削除時点で保存されていたフォルダに復元します。</p> <p>※ご注意 1</p> <p>ファイルアップロード時に、ごみ箱内に同じファイルが存在する場合は、ごみ箱内の同名ファイルが消去され、新しくアップロードした同名ファイルが保存されます。ごみ箱内にあった同名ファイルの内容に復元したい場合は、更新履歴から一代前前のバージョンに戻してください。</p> |

| | |
|---------------------------------|---|
| | <p><u>更新履歴の上限数をゼロにしている場合には、ごみ箱内のデータと同名のファイルを新たにアップロードすると、ごみ箱内にあったデータは完全に削除されますのでご注意ください。</u></p> <p>※ご注意 2</p> <p>ごみ箱内データの復元先フォルダ内に、名前の変更によって同一名のフォルダ/ファイルが存在する状態になった場合、ごみ箱内の同一名フォルダ/ファイルのリストアを行うと、ごみ箱内から<u>復元したフォルダ/ファイル名の先頭に copy-</u> が付与されます。</p> |
| 完全に削除 | <p>データを完全に削除します。</p> <p><u>※一度完全に削除したデータは復元できません。</u></p> |
| ごみ箱のコンテキストメニュー（右ボタンメニュー） | |
| ごみ箱を空にする | <p>ごみ箱内のデータをすべて完全に削除します。</p> <p>※復元はできません。</p> |

15 ローカルデータのバックアップ

バックアップ機能では、対象となるフォルダやファイルをあらかじめ圧縮して Cloud Disk にアップロードします。バックアップデータにはパソコンのどのフォルダから、いつ、バックアップしたもののなのかの情報が保持されています。

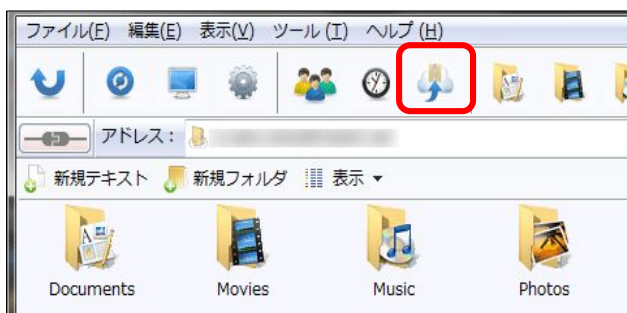
《バックアップツールの機能》

| | |
|--------------|---------------------------|
| バックアップツール | バックアップ項目のステータスが確認できます。 |
| 自動バックアップ設定 | 日次もしくは週次で特定のフォルダをバックアップする |
| 新規手動バックアップ | ユーザが手動で特定のフォルダをバックアップする |
| バックアップデータの復元 | バックアップしたデータを復元する |
| バックアップデータ削除 | バックアップしておいたデータを削除する |

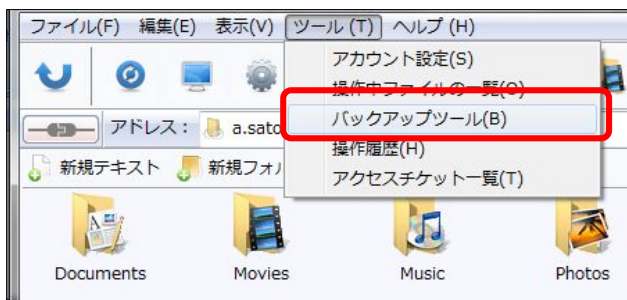
15.1 バックアップツール

バックアップツールのトップ画面ではバックアップのステータスが確認できます。

①以下のいずれかの方法で、バックアップツールを起動します。

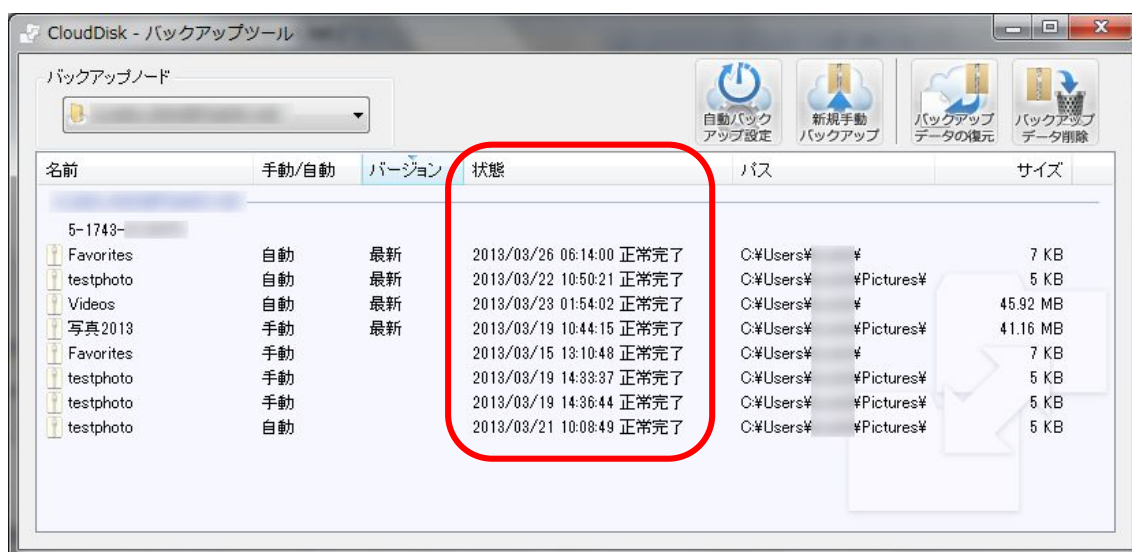


・メニューバーの「バックアップツール」アイコンをクリックします。



・「ツール」→「バックアップツール」を選びます。

②バックアップしたデータが一覧表示されます。



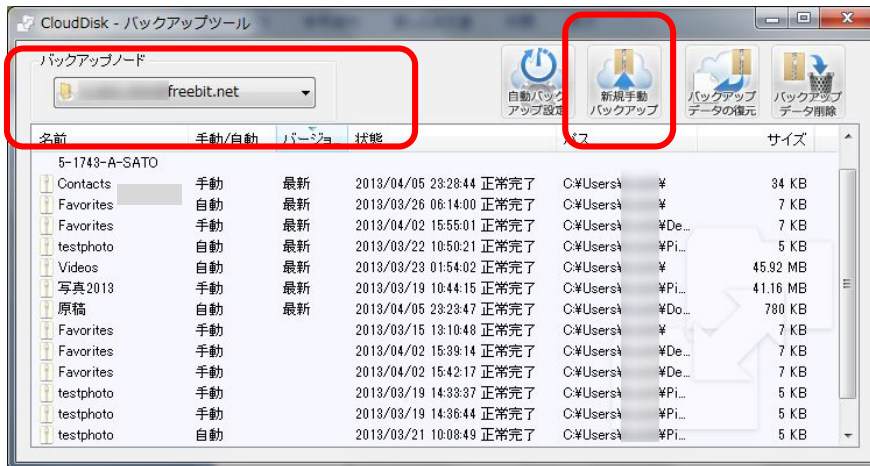
《状態》欄のステータスには以下のものがあります。

| 表示項目 | 事象 |
|------------------|---|
| 年/月/日 時:分:秒 正常完了 | バックアップ処理が正しく完了したことを示しています。 |
| 年/月/日 時:分:秒 異常終了 | バックアップ処理が正しく完了していないことを示しています。 原因としては以下が想定されます。 ①インターネットに接続できない、 ②アップロード中に Cloud Disk アプリケーションを終了した |
| 準備中 | バックアップデータのアップロード前の処理を行っていることを示しています。 |
| アップロード中 | バックアップデータを Cloud Disk へアップロードしている最中であることを示しています。 |

15.2 手動バックアップ

①バックアップツールを起動します。

②「バックアップノード」欄でアカウント名を選び、右上の「新規手動バックアップ」アイコンをクリックします。

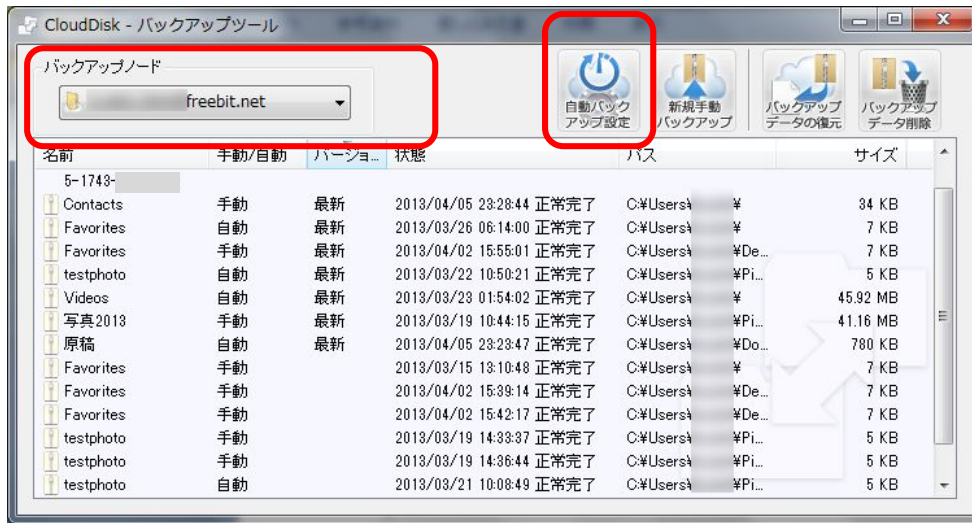


③「ファイルまたはフォルダーの参照」画面が起動します。バックアップするフォルダ/ファイルを選びます。

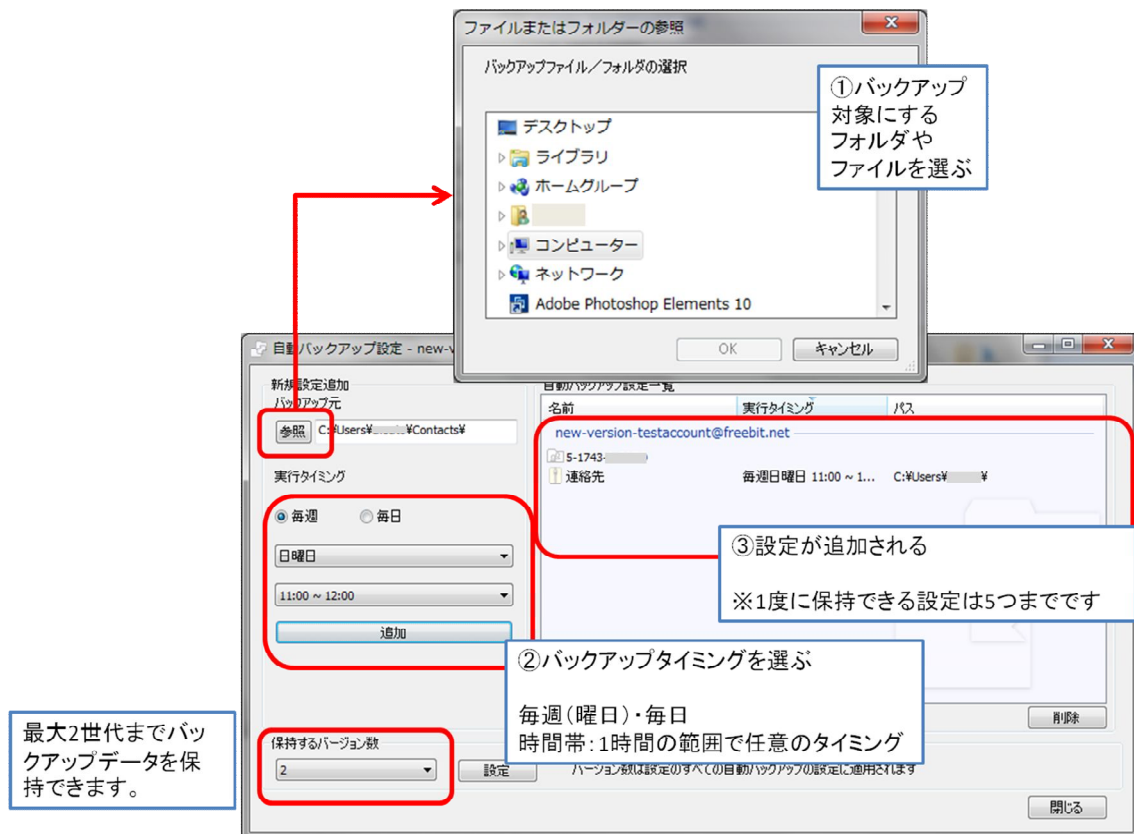
※同じファイル/フォルダのバックアップは上書きではなく、バックアップデータが追加されます。

※原則としてシステムフォルダはバックアップ対象にできません。(詳細は P31 を参照)

15.3 自動バックアップ



①「バックアップノード」欄でアカウント名を選び、右上の「自動バックアップ設定」アイコンをクリックします。



②自動バックアップ設定画面で必要な項目を設定します。

※原則としてシステムフォルダはバックアップ対象にできません。(詳細は P31 を参照)

※ご注意:1つのバックアップファイルサイズの上限は2GBです。

圧縮後の容量が2GBを超えると警告が出て、バックアップが停止します。

※ご注意 2:バックアップ対象にできないフォルダ

1・Root そのもの (例:c:¥, e:¥)

2・¥Windows 以下のフォルダやファイル群

※そのフォルダがドライブの直下にある場合、属するドライブの違いにかかわらず、同様に処理します。

例:C:¥Windows、D:¥Windows の両方がある場合、同じく処理します。

3・¥Program Files, ¥Program Files(x86) 以下のフォルダやファイル群

※上記の「2」と同じく処理します。

4・Windows OS で system folder と判断されるもの

5. ネットワークドライブのファイルやフォルダ

ただし、以下のフォルダはバックアップ対象として選択可能です。

例外:

「パブリックのドキュメント」

「パブリックのミュージック」

「パブリックのピクチャ」

「パブリックのビデオ」

「マイドキュメント」

「マイミュージック」

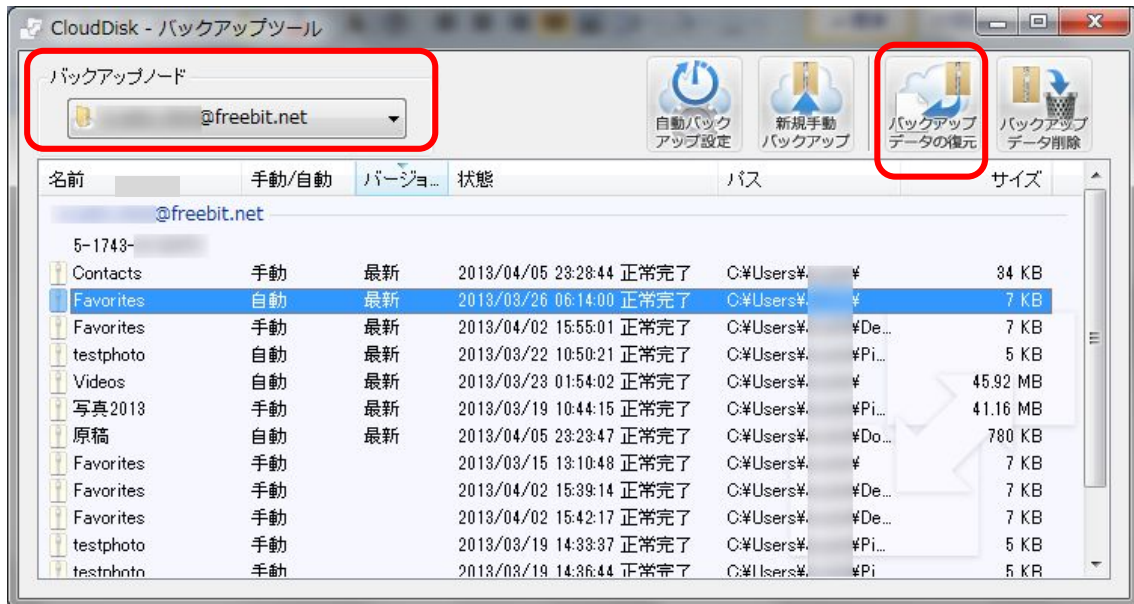
「マイビデオ」

「マイピクチャ」

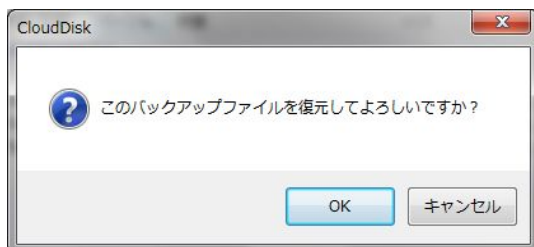
「お気に入り」

「アドレス帳」

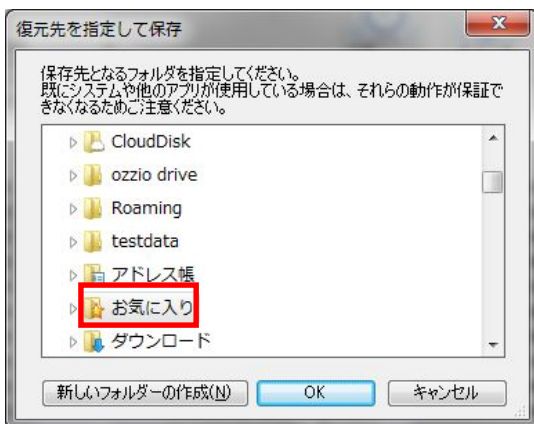
15.4 バックアップデータの復元



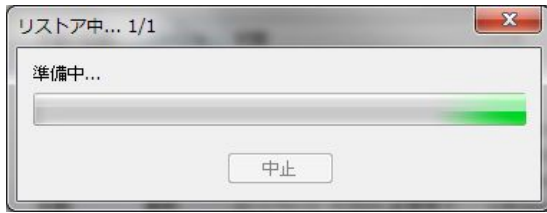
①「バックアップノード」欄でアカウント名を選び、バックアップデータ一覧から復元に用いるバックアップデータを選んで、右上の「バックアップデータの復元」アイコンをクリックします。



②復元の確認ダイアログボックスが表示されるので、よければ「OK」を選びます。



③復元先の確認ウィンドウが起動します。バックアップ元のフォルダがある場合は、そのフォルダがあらかじめ選択された状態になっています。



④バックアップデータを復元しています。

⑤復元したデータは、バックアップ元フォルダの中に以下のような名称のフォルダ名を作成し、保存されます。

※フォルダを復元する場合

〈バックアップフォルダ名〉〈yyyymmdd.hh〉

(例: Favorites_2013-03-26.06、お気に入り(Favorites)フォルダを2013年3月26日6時にバックアップしたデータという意味)

※ファイルを復元する場合

〈バックアップファイル名〉〈yyyymmdd.hh〉.〈拡張子〉

(例: あいうえお_2013-04-01.11.doc)

※復元時、復元先に既に同じファイルが復元されていた場合

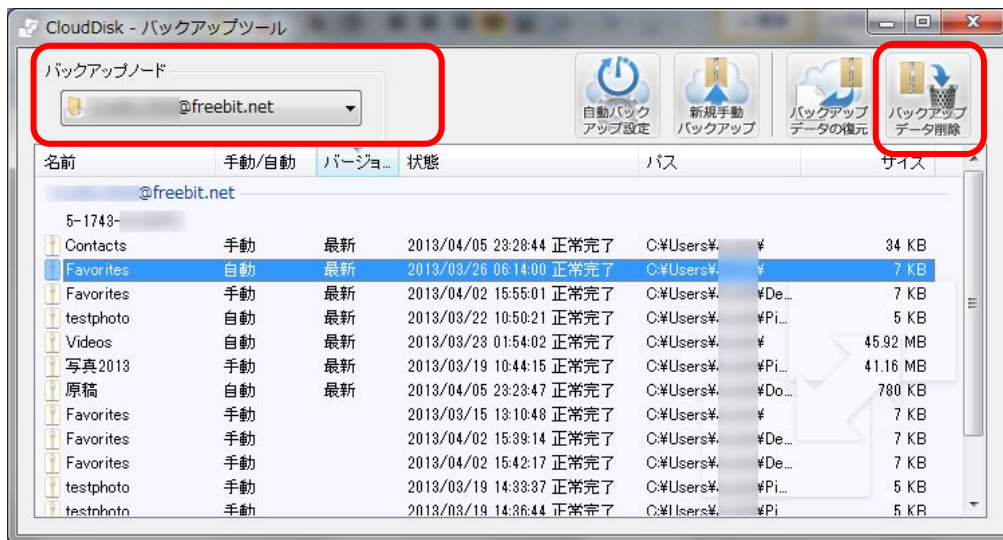
〈バックアップファイル名〉〈yyyymmdd.hh〉(1).〈拡張子〉

(例: あいうえお_2013-04-01.11(1).doc)

※復元時、もともと存在するファイル名と同一名が指定された場合は、

「〈ファイル名〉は既に存在します。ファイル名を変更してください」と表示され、ボタンは「OK」のみとなります

15.5 バックアップデータの削除



①「バックアップノード」欄でアカウント名を選び、バックアップデータ一覧から削除するバックアップデータを選んで、右上の「バックアップデータ削除」アイコンをクリックします。



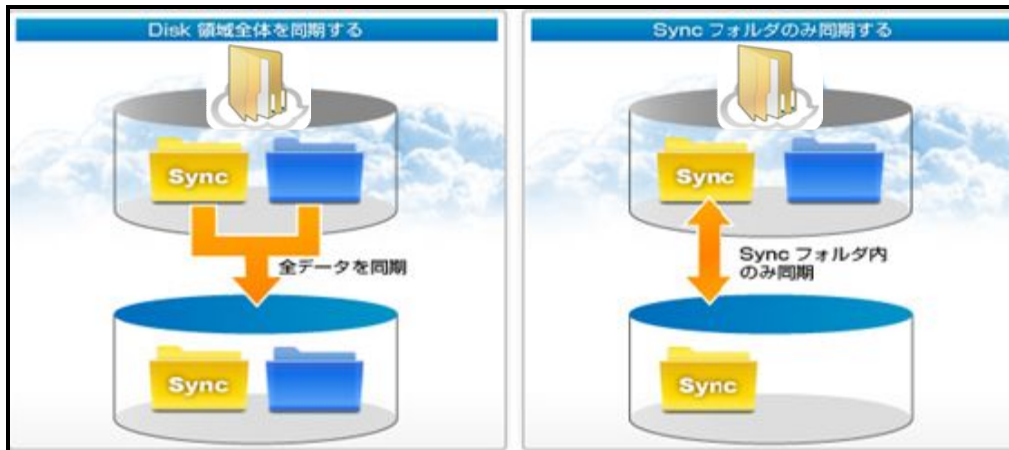
②削除の確認ダイアログボックスが起動するので、よければ「はい」をクリックします。

③削除が成功すると、リストからバックアップデータが消去されます。

16 SYNC(同期)機能

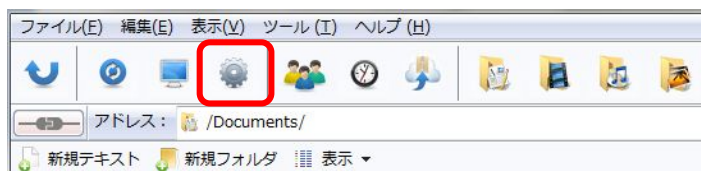
CloudDisk は Sync フォルダのみを同期、Disk 全体を同期という 2 つの同期方法があります。ご用途に応じて使い分けが可能です。

(Sync 機能概念図)

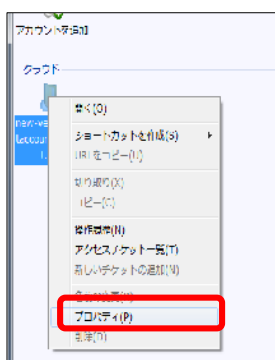


16.1 同期設定の確認

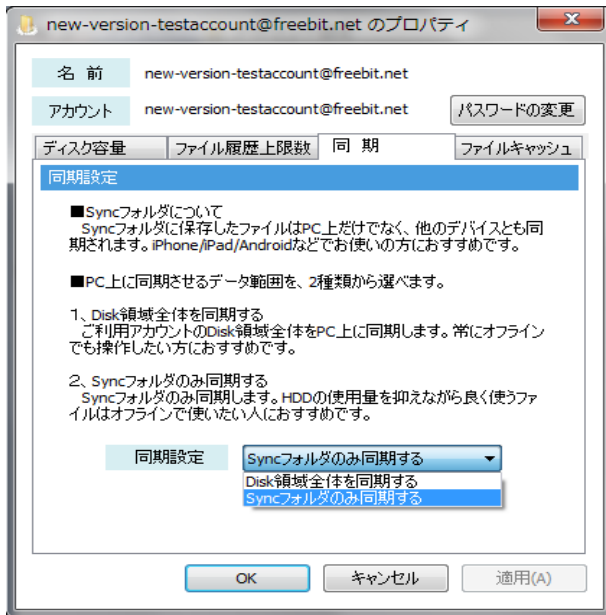
以下いずれかの方法でアカウントの「プロパティ」を表示します。



・アカウントごとの設定情報がある「ノードのプロパティ」ボタンをクリックします。



・もしくは、アカウント管理画面でご契約者様のメールアドレスのアイコンを右クリックしてコンテキストメニューから「プロパティ」をクリックします。



プロパティ画面の「同期」タブで同期設定を確認・変更する。

《同期設定》

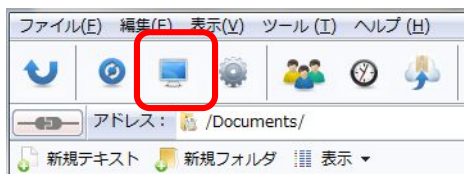
- ・ Sync フォルダのみ同期
- ・ Disk 全体を同期



同期するには、メニューバーの「同期」ボタンをクリックする。

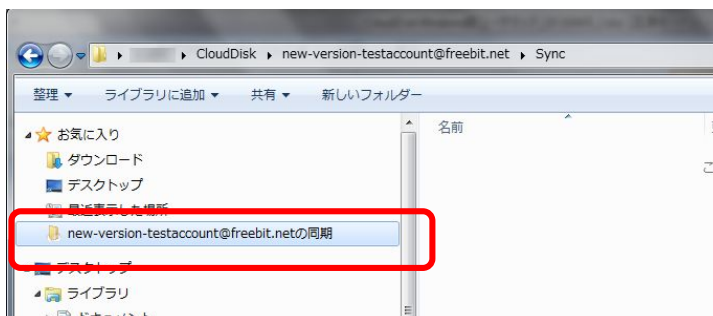
16.2 同期データをパソコンで参照する

《全 OS 共通》



・同期したデータがパソコン上ではどこに保存されているかを参照する場合には、メニューバーの「ローカルで開く」アイコンをクリックします。

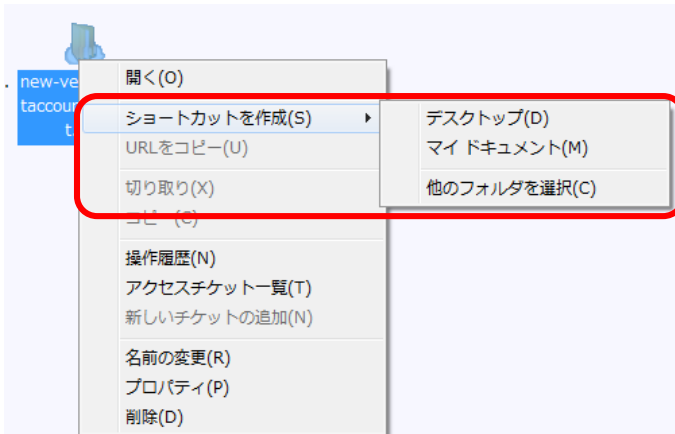
《Windows Vista／7／8 の場合》



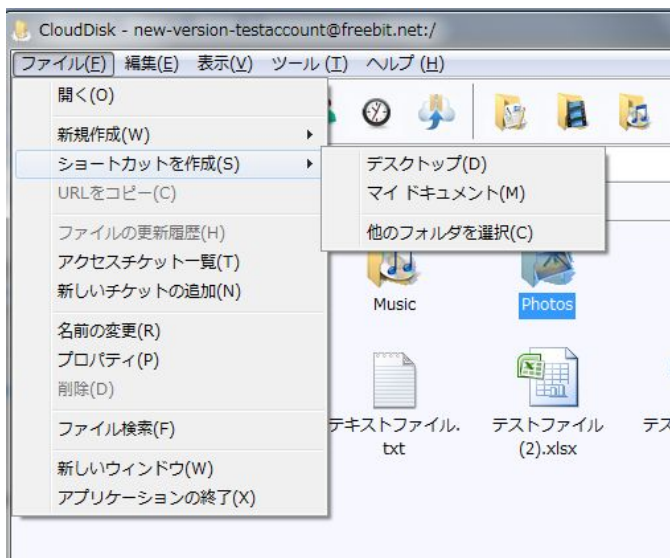
・エクスプローラの左側ペインに、Sync フォルダへのリンクが設定されます。(画面は Windows7 の例)

17 ショートカット機能

以下のいずれかの方法で、Windows 上に Cloud Disk の特定フォルダへのショートカットを作成することができます。



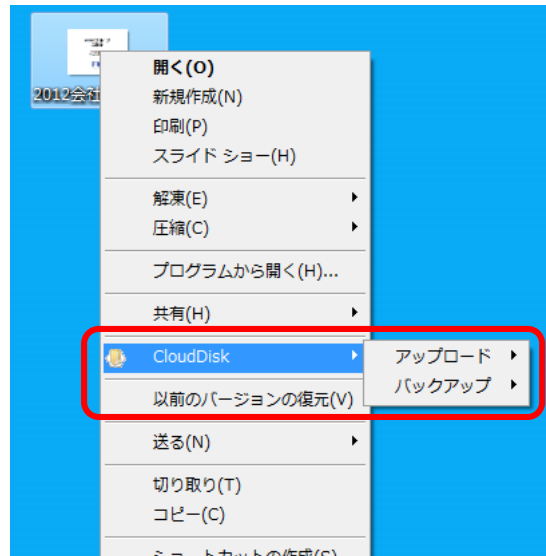
・Cloud Disk のフォルダやアカウントアイコンの上で右ボタンをクリックし、コンテキストメニューを表示します。「ショートカットを作成」から、Windows のデスクトップやマイドキュメント、任意のフォルダに Cloud Disk にアップロードできるショートカットを作成できます。



・Cloud Disk のフォルダやアカウントアイコンを選び、「ファイル」メニューの「ショートカットを作成」から任意の場所を選択します。

※ショートカットは、 このアイコンで現れます。

※ショートカットの名称は「フォルダ名（メールアドレス）」となります。

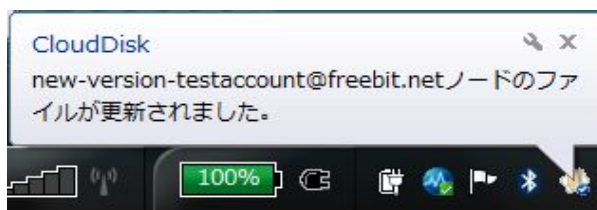


Windows 上のファイルやフォルダの上で右ボタンをクリックし、表示されるコンテキストメニューから CloudDisk に「アップロード」や「バックアップ」することができます。

18 プッシュ通知機能

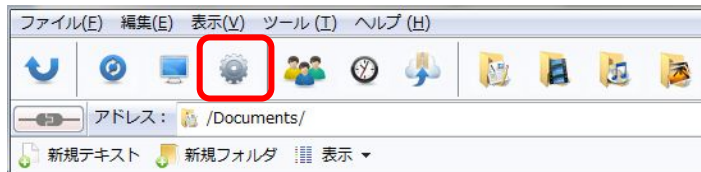
複数人でご利用中の場合には、一人がファイルの操作（アップロード、上書き、削除）をすれば、関係者全員に通知されます。

更新があった場合、タスクトレイに以下のような通知があります。

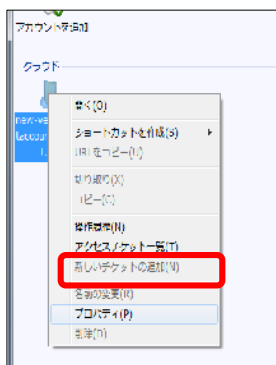


19 利用容量の確認

現在 Disk をどれだけ、どのように使っているのかを確認できます。以下いずれかの方法でアカウントの「プロパティ」を表示します。



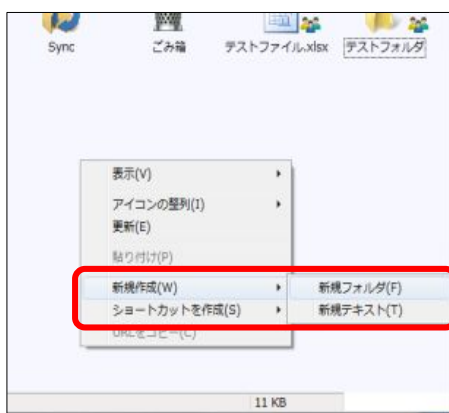
・アカウントごとの設定情報がある「ノードのプロパティ」ボタンをクリックします。



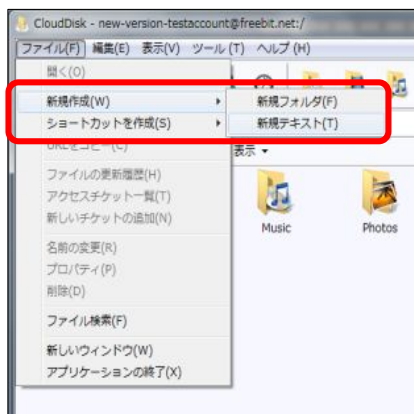
・もしくは、アカウント管理画面でご契約者様のメールアドレスのアイコンを右クリックしてコンテキストメニューから「プロパティ」をクリックします。

20 新規ファイルの作成と編集(テキストファイル)

Disk 上でテキストファイルを作成し、編集も行えます。以下いずれかの方法でアカウントの「プロパティ」を表示します。



・Disk 上の空白で右クリックし「新規作成」から「新規テキスト」を選択します。

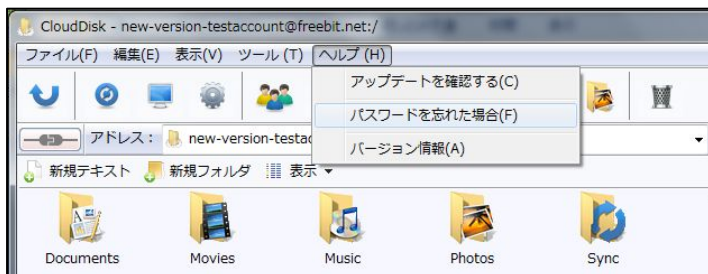


・画面右上の「ファイル」の「新規作成」から「新規テキスト」を選択します。

Disk 上に新規テキストファイルができるので、名前を付けて保存します。保存されたテキストファイルをダブルクリックするとパソコンのメモ帳で編集できます。

21 パスワードの変更

パスワードを忘れた際に、特定の URL からパスワードが変更できます。



①「ヘルプ」メニューから「パスワードを忘れた場合」をクリック



パスワードリセットURL通知

アカウント名として登録されたメールアドレス宛に、パスワード変更URLを記載したメールを送信します。
お客様のメールアドレスを入力してください。

| | |
|---------------------|----------------------|
| メールアドレス (アカウント名) | <input type="text"/> |
| 送信 | |

②ご利用中の Cloud Disk アカウント URL を記入します。記入したメールアドレスにパスワードの変更用 URL を含むメールが送られます。メールが届かない場合には、ご契約の事業者にお問い合わせください。

22 仕様に関してのご注意事項

●拡張子がないファイルについて

(1) 拡張子がないファイルは、Cloud Disk のシステム上はフォルダと同様に扱われます。以下のような操作を行う際にこの仕様による影響が出ます。

・ファイル名を変更しようとした際に、同じフォルダ内に存在するフォルダと同じ名称を、ファイルに設定することはできません。

・アップロード先のフォルダ内に、アップロードするフォルダと同一名の拡張子がないファイルが存在する場合、もしくは、アップロードするファイルと同一名のフォルダが存在する場合、「ファイル/フォルダを上書きしてよろしいですか。」という確認ダイアログボックスが表示されます。

・ごみ箱からの復元先に、復元ファイルと同一名のフォルダがある場合、復元ファイルの先頭に copy- という文字列が付与されます。復元フォルダと同一名のファイルがある場合、復元ファイルの先頭に copy- という文字列が付与されます。

●バックアップ機能について

(1) Windows 上でコンテキストメニューから「バックアップ」を選択した際に起動したバックアップツールウィンドウは、右上にある「閉じる」ボタンのみで閉じられます。(このバックアップウィンドウは独立して起動しているので、Disk サービスのメインウィンドウを閉じても、起動したままになります)

(2) バックアップ開始前に圧縮を行います。そのため通常のアップロードよりも時間を要する場合があります。

(3) 半角英数字、及び日本語以外の文字を含むファイル名(例: 簡体字、繁体字、ハングル等)は正しく処理できません。

(4) ショートカットファイルをバックアップ対象に含めた場合、リンク先のファイルやフォルダそのものをバックアップする場合があります。

●プロキシ サーバーが設定されている場合

(1) Internet Explorer のインターネット オプション画面以外で、プロキシ サーバーに関する設定を行っている場合、Windows Client での通信が正しく動作しない可能性があります。

23 既知の問題

- ・ 停止したアカウントが登録されている場合、Client 起動時にパスワードを要求されません。
- ・ ディレクトリパスが Windows OS の制限を超える場合、ファイル操作中にクライアントが終了します。
- ・ 操作履歴の“ごみ箱”の文字が文字化けする現象が確認されています。
- ・ 履歴の最大数を変更したとき、クライアントが終了する場合があります。
- ・ コピーした元ファイルと同じフォルダ内に貼り付けた際、ファイルが追加されるのではなく、上書きされますが、メッセージが何も表示されません。
- ・ ファイル数が多い場合などに同期が正しく終了しないことがあります。
- ・ Disk サービスに保存しているファイル数が多い場合に「ディスク容量」の使用量内訳が、使用領域が 0Byte 表示になるなど、正しい情報を表示しない場合があります。
- ・ 複数のファイルを一度の操作でアップロードしようとした際に、アップロード処理が途中でエラーになることがあります。
- ・ システムフォルダ（Documents, Movies, Music, Photos, Sync）を削除しようとするとき「操作に失敗」とメッセージが表示されます。
- ・ 以下の操作をした場合、「ノードを切り替える前に、他のウィンドウを閉じてください。」というメッセージが表示され、アカウントアイコンの削除に失敗します。
 - ・ 全てのウィンドウを閉じた後に、デスクトップアイコンからクライアントを起動した場合。
 - ・ 全てのウィンドウを閉じた後に、スタートメニューからクライアントを起動した場合。ただし、次の場合はアカウントアイコンを削除することが可能です。
 - ・ 全てのウィンドウを閉じた後に、タスクトレイアイコンからクライアントを起動した場合。
- ・ ファイル名を変更して保存した際、ファイルにその変更が反映されないことがあります。

以上



Cloud Disk (Windows 版)

～OEM 提供機能～

※本ページ以降は OEM でご提供している事業者様のみご利用可能な機能となっております

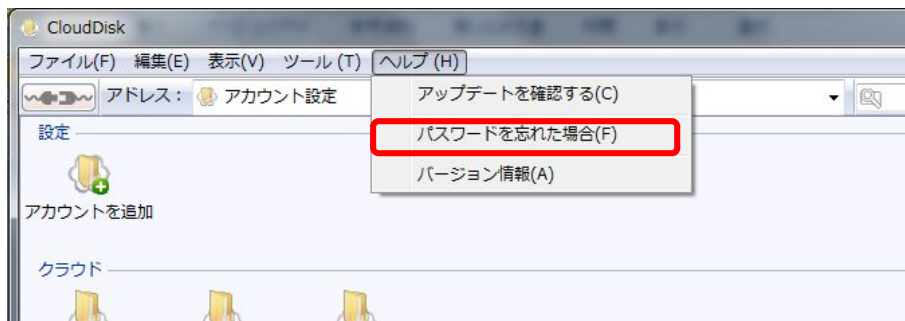
24 OEM 提供機能

24.1 WEB ページリンク先 URL の表示

事業者様の指定する任意の Web ページリンク先を 3 つまで表示させることが可能です。

下記ヘルプをクリックすると「アップデートを確認する」「バージョン情報」がデフォルトで表示されます。「アップデートを確認する」「バージョン情報」の間に任意の Web ページリンク先を 3 つまで表示できます。

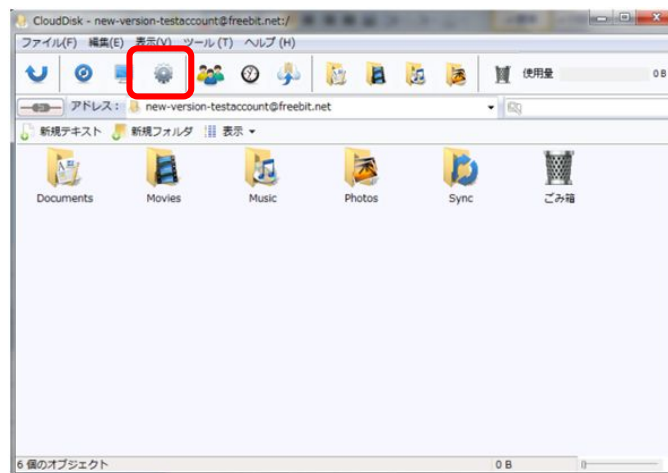
※Option でパスワードリセット画面のリンクを表示させる場合もこちらに表示されます



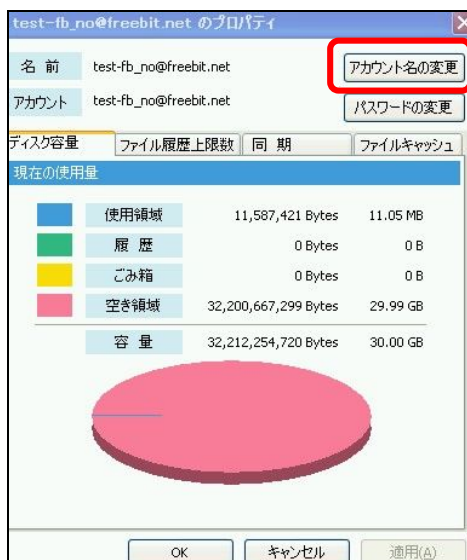
24.2 アカウント変更

アカウントを変更することが可能です。 本機能の使用有無は選択可能です。

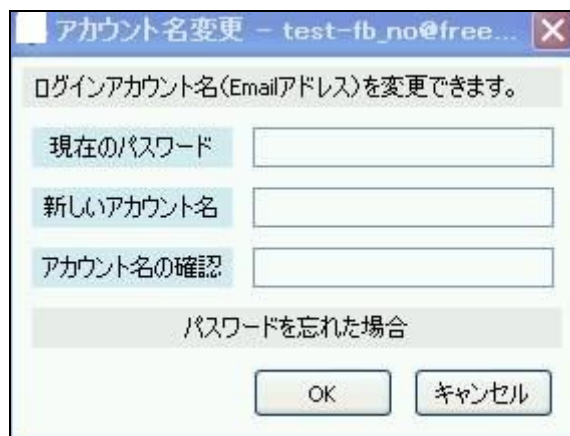
① ノードのプロパティをクリックします。



② アカウント名の変更をクリックします



③ 「現在のパスワード」「新しいアカウント名」を入力し、「OK」をクリックします。



24.3 バックアップツール

バックアップツールにおいて自動バックアップ機能が提供されておられません。それに伴い、インターフェースが Cloud Disk と若干異なります。

《相違点》

Cloud Disk のバックアップツールにある以下の項目がありません。

自動バックアップ設定アイコン、手動/自動、バージョン

